

学校体育ソフトボール基本ルール

ルール1 チーム編成

(1) 1チームは、原則として、10～12名とする。

ルール2 試合

- (1) 試合は、5インングの表裏の攻撃で得点を競うものとする。
- (2) 攻守交代は、スリーアウトとする。
- (3) 選手の交代は自由とする(無通告でよい)。

ルール3 投球

- (1) 投手は、両足を投手板上に置き、投球腕の肩を軸にして振り子のように振って、一步踏み出して投球する(スタンダード投法)
- (2) 投手は、打者が打ちやすい山なりボールを投げる。
- (3) ストライクゾーンは、打者が打撃しようとするときの肩から膝頭の低部とする。

ルール4 攻撃

- (1) 四球(フォアボール)、三振はありとする。
- (2) 2ストライク後にファールを打った場合はアウトとする。
- (3) 打者が、バントした場合にはアウトとする。

※打撃完了後のバットの取り扱いには十分注意すること。絶対に放り投げないこと。

ルール5 走塁

- (1) 走者は、打者が打った後、離塁することができる。
- (2) 走者の盗塁は禁止とする。
- (3) 走者のスライディングは禁止とする。
- (4) 野手の悪送球については1個の安全進塁権が与えられる。

ルール6 守備

(1) 守備者は、投手(ピッチャー)、捕手(キャッチャー)、一塁手(ファーストベースマン)、二塁手(セカンドベースマン)、三塁手(サードベースマン)、遊撃手(ショートストップ)、左翼手(レフトフィールドャー)、左中堅手(レフトセンターフィールドャー)・右中堅手(ライトセンターフィールドャー)・右翼手(ライトフィールドャー)の10～11名とする。

(2) 捕手以外のプレイヤーはフェア地域のどこを守ってもよい。

※投手はできるだけベースボール型経験者が努めることが望ましい。

